





2025年  
3月号  
横浜市  
衛生研究所

# 感染症に 気をつけよう

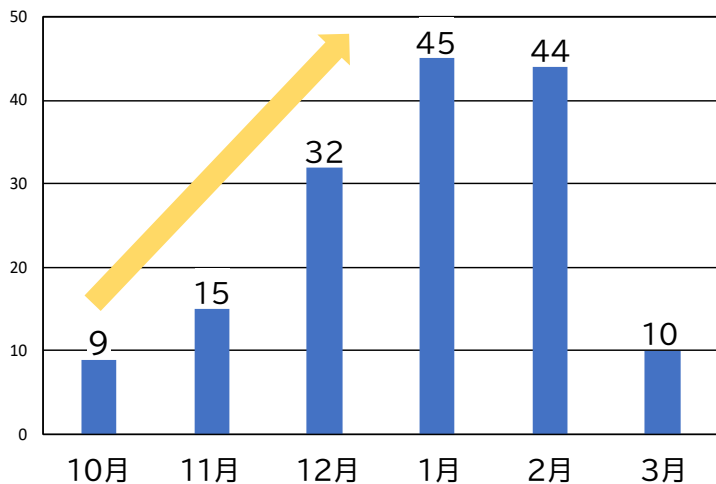
## 今月の感染症流行状況



疾患名	流行状況	説明
感染性胃腸炎	 <b>流行中</b> 	2024年10月以降増加 高齢者施設や保育所での発生も
新型コロナウイルス感染症	 <b>注意</b> 	2024年12月以降は ほぼ横ばいで推移
百日咳	<b>患者数急増</b>	2024年秋頃より患者数増加 学校内での流行が推測される例も
麻しん(はしか)	<b>発生報告あり</b>	市内の麻しん報告は2022年以来

## 今月のトピック 百日咳：長引く咳に注意！

横浜市内 百日咳発生数  
(2024年10月～2025年3月9日)



### 01 どんな病気？

- ・ 激しい咳が特徴の感染症です。
- ・ 最初は風邪のような症状ですが、徐々に咳が強くなっていきます。
- ・ 回復までに2～3か月かかることもあります。



### 02 予防するために

- ・ 定期予防接種の対象のお子様は、適切な時期に予防接種を受けましょう。
- ・ 基本的な感染対策(手洗い、咳エチケットなど)を心がけましょう。



咳の症状が続くときは、早めに医療機関を受診しましょう。

横浜市感染症情報センター 3月17日発行



横浜メディカル  
ダッシュボード